

安全データシート

GRAISSE TIGRE 80



1. 化学品及び会社情報

製品名 : GRAISSE TIGRE 80
製品タイプ : 固体。

供給者を特定する情報 : ☎373-8668 群馬県太田市植木野町880 - Tel : 0276-90-8504
緊急連絡電話番号(受付時間) : +81 298 52 6399

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 分類されていない。

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 注意喚起語なし。
危険有害性情報 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
注意書き
概要 : 該当せず。
安全対策 : 該当せず。
応急措置 : 該当せず。
保管 : 該当せず。
廃棄 : 該当せず。

他の危険有害性 : 認知済みのものは無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物 : 混合物

CAS 番号/他の特定名

CAS 番号 : 該当せず。

成分 日本 GHS 分類	%	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法)	労働安全衛生法
ロジン	0.1 - 0.99	8050-09-7	7-935	データなし。
トリエタノールアミン	0.1 - 0.3	102-71-6	(2)-308	データなし。

本製品の補足的な成分の中には、現在の知識の範囲および該当する濃度において、このセクションで報告が義務づけられている健康または環境に対して有害危険性であると分類される成分は含まれていません。

暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。

4. 応急措置

必要な応急処置の説明

- 眼に入った場合** : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 吸入した場合** : 影響を受けたエリアから人々を避難させる 必要に応じて、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合** : 汚染された衣服および靴を脱がせる。多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合** : 水で口を洗浄する。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。

最も重要な急性および遅発性の症状/影響

起こりうる急性毒性

- 眼に入った場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 吸入した場合** : 分解生成物に暴露すると、健康を害することがある。暴露に続いて重大な影響が遅れて発生することがある。
- 皮膚に付着した場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 飲み込んだ場合** : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰暴露の徴候/症状

- 眼に入った場合** : 特にデータは無い。
- 吸入した場合** : 特にデータは無い。
- 皮膚に付着した場合** : 特にデータは無い。
- 飲み込んだ場合** : 特にデータは無い。

必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置の指示

- 医師に対する特別な注意事項** : 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
- 応急措置をする者の保護** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 特定の治療法** : 特定の治療法はない。

有害性情報を参照(セクション11)

5. 火災時の措置

消火剤

- 消火剤** : 適切な消火剤を使用すること。
- 不適切な消火剤** : 認知済みのものは無し。

火災時の措置に関する特有の危険有害性 : 特定の火災爆発の危険有害性はない。

- 有害な熱分解生成物** : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある: 二酸化炭素 一酸化炭素 窒素酸化物 金属酸化物

消防士用の特別な防具と予防措置 : ***À TRADUIRE*** 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火を行う者の保護 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 緊急時要員以外の人員用** : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。
- 緊急時の責任者用** : 排出処置に必要な特別な衣服と道具: セクション8を参照

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。物質を吸い取るか拭き取り、ラベル表示した廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意: 接触時の情報はセクション1を、廃棄処理はセクション13を参照して下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

安全に保管するための注意事項 : 現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

曝露限界

なし。

推奨される測定方法

: 当製品が曝露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。適切な監視規格を参照しなければならない。危険有害性物質の定量法に関する国の指針文書を参照することも必要になる。

適切な技術的管理

: 全体換気装置は作業者が曝露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

環境曝露管理

: 規則に応じた放出のための境界義務を保証する

個人の保護措置

衛生対策

: 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙、およびトイレの使用前、さらに作業時間の最後に、両手、両腕の肘から手首までの部分、また顔を十分に洗う。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

保護眼鏡/保護面

: 飛沫(液とび)あるいは粉じんばく露によるリスクの場合、適正な保護眼鏡を着用すること。

皮膚の保護

手の保護具

: 防水および耐薬品性手袋の着用を推奨する

身体保護具

: 保護具は、作業に関連したリスクによって選択される

その他の皮膚保護具

: この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

呼吸用保護具

: 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

: 固体。

色

: 茶色。

臭い

: データなし。

臭いのしきい

: データなし。

pH

: データなし。

融点

: データなし。

沸点

: データなし。

引火点

: データなし。

9. 物理的及び化学的性質

燃焼時間	: データなし。
燃焼速度	: データなし。
蒸発速度	: データなし。
燃焼性(固体, 気体)	: データなし。
爆発限界	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
蒸気密度	: データなし。
比重	: 1.128
溶解度	: データなし。
n-オクタノール/水分配係数	: データなし。
分解温度	: データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	: この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: 製品は安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: 特にデータは無い。
混触危険物質	: 特にデータは無い。
危険有害な分解生成物	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

毒物学的作用に関する情報

急性毒性

データなし。

刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	暴露時間	観察
トリエタノールアミン	眼 - 軽度の刺激性	ウサギ	-	10 milligrams	-
	眼 - 強刺激剤	ウサギ	-	20 milligrams	-
	皮膚 - 軽度の刺激性	ヒト	-	72 時間 15 milligrams Intermittent	-
	皮膚 - 強刺激剤	マウス	-	50 Percent	-
	皮膚 - 軽度の刺激性	ウサギ	-	24 時間 560 milligrams	-

感作

データなし。

変異原性

データなし。

発がん性

データなし。

生殖毒性

データなし。

11. 有害性情報

催奇形性

データなし。

特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)

名称	カテゴリ	暴露経路	標的器官
トリエタノールアミン	区分3	該当せず。	気道刺激性

特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)

データなし。

呼吸に対する危険有害性

データなし。

可能性のある暴露経路についての情報 : データなし。

起こりうる急性毒性

- 眼に入った場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 吸入した場合 : 分解生成物に暴露すると、健康を害することがある。暴露に続いて重大な影響が遅れて発生することがある。
- 皮膚に付着した場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 飲み込んだ場合 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

- 眼に入った場合 : 特にデータは無い。
- 吸入した場合 : 特にデータは無い。
- 皮膚に付着した場合 : 特にデータは無い。
- 飲み込んだ場合 : 特にデータは無い。

遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響

健康への慢性効果の可能性

データなし。

- 概要 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 慢性作用 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 発がん性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 変異原性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 催奇形性 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 発育への影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。
- 生殖能力に対する影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

毒性の数値化

急性毒性の推定

データなし。

12. 環境影響情報

毒性

データなし。

残留性・分解性

データなし。

生体蓄積性

12. 環境影響情報

製品 / 成分の名称	LogP _{ow}	BCF	可能性
トリエタノールアミン	-1	-	低

その他の悪影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

規定なし。

15. 適用法令

日本の管理法令

火薬類取締法 : 該当せず。
 高圧ガス保安法 : データなし。

消防法	: データなし。	指定数量	: データなし。
消防法	: データなし。	指定数量	: データなし。
要届出物質	: 該当せず。	指定数量	: データなし。
消防法 - 妨害物質	: 非該当		

性質 : データなし。
 危険等級 : データなし。

毒物及び劇物取締法

重大な作用や危険有害性は知られていない。

特定化学物質の用途 : データなし。

労働安全衛生法 : データなし。

有機則 : データなし。

鉛中毒予防規則 : 該当せず。

職業病 : データなし。

海洋汚染および
海洋災害防止法 : データなし。

危険物の海上運送規制に関する
通達 : データなし。

航空法 : データなし。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR) : 非該当

道路法 : データなし。

四アルキル鉛中毒予防 : 非該当

製造の許可を受けるべき有害物 : 非該当

製造等が禁止される有害物等 : 非該当

労働安全衛生法 - 名称等を
通知すべき危険物及び有害物 : 該当

危険物 : 非該当

特別管理産業廃棄物リスト : 非該当

化審法

データなし。

生分解性 : データなし。

魚に蓄積した化学物質の濃度 : データなし。

日本インベントリ : 日本インベントリ(ENCS)(既存及び新規化学物質): 未確定。
日本インベントリ(ISHL): 未確定。

その他の規定 : データなし。

製品特有の安全、健康および
環境に関する法規 : この製品(その成分を含む)に適用される可能性のある特定の国および/または地域の規則は知られていない。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 25/01/2022

前作成日 : 03/06/2015

バージョン : 1.01

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

This Safety Data Sheet contains information based on the state of our knowledge relating to the product concerned, at the date indicated.

Moreover the attention of the users is drawn to the possibility of risks when a product is used for uses other than those for which it is conceived.

It does not exempt in any case the user to know and apply the whole of the texts regulating its activity. It is the users sole responsibility to learn about the precautions related to the use of this product.

The purpose of the information mentioned is simply to help the recipient fulfil their obligations during the use of the dangerous product.